

いつも心を寄せていただき、ありがとうございます。

震災後間もない頃から来訪者は増え続け、**2021年7月**より石巻市の震災遺構となり、公共交通機関もない中、県内外からさらに多くの皆さんが足を運ぶ「慰霊・学び」の場所となっています。

開館から1年4ヶ月を経て、気づいたことをいくつか書かせていただきます。

.....

3.11の伝承は多くの地区でいろんな形で展開していますが、各地で「伝える先」に何を拠えているのかが問われています。

児童・教員の犠牲という事実が大川小の最大の特色です。向き合いにくい、伝えづらいのは当然です。しかし、まともな議論はなされないまま、整備工事が進みました。継続的に検討していくシステムが必要だと考えます。

伝承に必要なのは「事実・考察・学び」です。事実が曖昧では学びは生まれません。未来につながりません。逆に学びが生まれれば、あの出来事は、単に忌まわしいもの、うしろめたいものではなく、未来を拓くきっかけになるはずです。

今後も、伝承室と連携しながらハード面、ソフト面のいっそうの充実を図りたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。

大川伝承の会

公共交通機関はないが多くの人が来訪

